

2021年度(2020年度実施)大学入学共通テスト『英語』における 英語資格・検定試験の取り扱いの変更について

令和元年11月1日に文部科学大臣から、2021年度(2020年度実施)大学入学者選抜から導入予定であった英語民間試験活用のための「大学入試英語成績提供システム」の導入を見送ると発表されました。

本学は、これまで、大学入学共通テスト『英語』において、英語民間試験(大学入試センターの成績提供システムに参加する英語資格・検定試験)の受験を必須とすることとして、「2021年度(2020年度実施)大分大学入学者選抜方法の見直しに係る予告について」を公表(URL:<https://www.oita-u.ac.jp/06nyushi/senbatusminaoshi.html>)してきましたが、以上の発表に基づき、この予告の見直しを行いました。

その結果、本学では、当分の間、一般選抜、総合型選抜、および学校推薦型選抜において、大学入学共通テストで『英語』を課す入試では、英語民間試験を活用しないこととしましたのでお知らせします。

なお、本学においては、従前より英語資格・検定試験を活用している入学者選抜区分がありますが、今後も引き続き活用する方針に変更はありません。

国立大学協会の要請に基づき、「2021年度(2020年度実施)大分大学入学者選抜における大学入学共通テスト及び英語資格・検定試験の活用予定状況」を下記の通り公表します。

(URL:<https://www.oita-u.ac.jp/06nyushi/eigokatsuyojoyokyo.pdf>)

以 上